

## 村上春樹原作『ノルウェイの森』の映像化、および同映画の中国における上映後の変容

徐子怡

### 一 『ノルウェイの森』の映画化

『ノルウェイの森』は一九八七年九月に講談社より刊行された、村上春樹（一九四九〜）の五冊目の長編小説である。刊行された当時、赤色と緑色に装丁された上下巻は刊行後わずか一年間で、二巻の合計累計販売部数が四三五万部に達し、日本の小説発行部数の記録を塗り替えるような大ベストセラーとなった。現在の累計販売部数はすでに一〇〇万部を突破しており、三六か国・三三言語に翻訳され、世界中でも広く愛読されている。

『ノルウェイの森』が最初に中国で翻訳されたのは一九八九年であった。この時期はちょうど北京で起こった「天安門事件」と重なる時期であり、民主化運動に挫折を覚えた中国の若者たちは『ノルウェイの森』に癒しを求め、やがて中国では小規模の第一次村上ブームが発生した。その後、一九九二年以来絶好調だった中国経済の成長率がやや鈍くなった一九九八年に第二次、そして『ノルウェイの森』出版二〇周年を迎えた二〇〇七年に第三次の村上ブームが

発生した。藤井省三がまとめた中国の村上受容史を代表とするこの三回の村上ブームについて、『村上春樹のなかの中国』（朝日新聞社、二〇〇七）および論文『中国的《挪威的森林》』で詳しく分析している。二〇一〇年に中国の出版大手一〇社が名乗りを上げた長編『1984』の簡体字版權争奪戦の結果、出版販売企画会社の新經典文化株式会社が中国出版史上最高額と言われる一〇〇万米ドルの版權料で版權を取得し、大きな話題になった。『ノルウェイの森』はまたこの『1984』のブームと共に人気が再燃し、中国ではついに第四次の村上ブームが到来した。

この長年に渡り国内外で愛読され続けているロンクゼラー作が二〇一〇年に『青いパイアの香り』（一九九三）の監督として名を知られているベトナム系フランス人の映画監督トラン・アン・ユン（一九六二〜）によって映画化され、二〇一〇年二月一日に日本で劇場公開された。また、その翌年の二〇一一年九月には、中国でも劇場公開されている。

映画『ノルウェイの森』のストーリーは基本的に原作に対して忠

実に作成されているいっぽう、多くの変容が生じている。本報告では主に以下の三点に注目したい。

(一) 構造上の変化—イントロダクションの消去

小説『ノルウェイの森』には、三七歳のワタナベがドイツ・ハンブルグ空港到着の飛行機の中でビートルズの名曲「ノルウェイの森」を耳にして突然混乱に襲われ、一八年前に付き合っていた恋人直子のことを思い出すことから物語が始まる。この時点では直子はすでに死者となっているが、語り手のワタナベは読者に直子の死を伏せたまま物語を語ってゆく。ここには二重の「目」が存在していることを日本文学評論家の佐藤幹夫は指摘している。つまり、「過去をふりかえるワタナベ」と「現在を生きるワタナベ」によって、死者への回想が現在のこととして語られていく構造である<sup>④</sup>。このようにして、ワタナベはこの二重の「目」をもちながら、失った人々と過去の青春を吊っている。ワタナベの回想は小説の構造上に重要な役割を果たしていると同時に、『ノルウェイの森』を成長小説としての完成に導く重要な鍵でもある。

いっぽう、映画『ノルウェイの森』では、小説冒頭の回想シーンが再現されず、いきなり高校生のワタナベ（松山ケンイチ）、直子（菊地凜子）、キズキ（高良健吾）の三人が校庭らしき庭で仲良く遊ぶシーンから始まる。監督はこのような処理について、下記のよう

「映画でそのプロlogue部分を描かなかったのは、ノスタルジ

ックな視点の作品にしくなかつたからです。あくまでも若い人たちの、現在の物語として語りたかつたんです<sup>⑤</sup>。」

つまり、映画『ノルウェイの森』は最初から原作の構造をリードする重要な回想シーンを意図的に消去することによって、小説とは異なる物語の構成を観客に明示しているのである。

(二) 登場人物の不十分な再現

レイコは直子が入院した精神療養所の阿美寮でのルームメートであり、曾てピアニストを目指していたが突然指が動かなくなつて、精神的に大きな打撃を受けたことがある。その後結婚と出産を経て、ピアノの家庭教師となつて徐々に回復し始めたところで邪悪な一三歳の美少女生徒との関わりによって病気が再発して、夫と離婚し、それ以来阿美寮で暮らしていた。

小説では、レイコが自分の過去、特に美少女との出会いの強烈な体験についてワタナベに語ることによって、レイコの人間性の奥行きが示されていると同時に、その後の彼女とワタナベとの親密な関係にも繋がっている<sup>⑥</sup>。また、小説の最後では、レイコが直子の遺品の服を着たまま東京を訪れ、ワタナベの前で五〇曲をギター演奏して直子のために「淋しくない」葬式をした後に、二人は心を許しあい自然に求め合うようになる。特にその夜のセックスの回数が四回と強調されたのは、ワタナベが直子の服を着たレイコ＝レイコン（直子の霊魂）と「四回」＝「死界」のセックスすることによって、直子を吊うための「死の世界のセックス」が完成された、と日本人

藝評論家の小山鉄郎は解釈する。

映画『ノルウェイの森』において、過去の物語が消去されたレイコ（霧島れいか）は、ごく普通の阿美寮入院患者の一人として登場する。また、ワタナベのアパートを訪れる最後のシーンでは、直子の服、ワタナベと一緒に行った直子のための「淋しくない」音楽葬、そして「四回」と強調されるセックスの各部分が完全にカットされた上に、原作にはないレイコのシャワーシーンが付け加えられている。このように何の前置きもなくレイコのセクシーなシーンが挿入されることによって、レイコのワタナベに対するセックスの誘いが非常に唐突な言動となる。

### (三) 深化できない「生」と「死」のテーマ

親友のキズキを失った悲しみから絞り出されるワタナベの言葉「死は生の対極としてではなく、その一部として存在している」は、小説『ノルウェイの森』の中の名句として広く知られている。この言葉はまた『ノルウェイの森』における第一号の死者であるキズキの死と共に、その後のワタナベが経験するすべての「生」と「死」に共通し、やがて小説全体を貫く重要なテーマとなる。

映画『ノルウェイの森』には、小説と同様にたくさんの死者が登場する。特に、原作では略述されたキズキの自殺過程が細かくリアルに再現されており、この点からは、原作の「死」を意識的に強調する演出が見て取れる。しかし、キズキの自殺後には、前述の小説『ノルウェイの森』の「生」と「死」に関する言葉は登場せず、いきなりワタナベが東京の大学のキャンパスを歩くシーンへとつな

がる。この一句の消去により、映画では小説のように「生」と「死」のテーマが深められないまま次のステップに跳躍するイメージが強くなる。

## 二 中国で上映された映画『ノルウェイの森』の変容

映画『ノルウェイの森』は日本公開の翌年に、中国における劇場公開も決定された。それを受け、まず二〇一一年六月に開催された上海国際映画祭でプレミア上映が行われ、その後の九月から中国全土五三都市、二〇〇〇館前後で上映されることになった。

しかし、劇場公開が待望された中国版『ノルウェイの森』は、日本のオリジナル版より三分八厘ほどの内容がカットされ、わずかに五分のバージョンになっていたのである。カットされた内容は、「性」を連想させるほとんどのラブシーンと主人公の会話のシーンである。例えば、ワタナベと直子の阿美寮でのラブシーンや、直子が手でワタナベの性欲を解決する内容を暗示するシーン、また緑とワタナベのマスターベーションに関する会話のシーンなどが挙げられる。そのほかに、緑が自宅でワタナベに自分の父親のことを語るシーン、父親が死んだ後に緑とワタナベが電話で話すシーン、そして永沢・ハツミ・ワタナベ三人の晩餐シーンなども削除されている。中国側は『ノルウェイの森』にある「性」に対して、もともと厳しい姿勢を取っている。一九八九年小説『挪威的森林（原題…ノルウェイの森）』の出版当初に、一六〇〇字ほどの性に関する描写が削除され、それをようやく二〇〇一年再版の上海譯文出版社刊行

『挪威的森林』全訳本で復活させたことから見れば、映画における「性」と関わるシーンがほとんどカットされたのも、さほど意外なことではないが、最も変化が大きいのがやはりレイコの部分だった。

前述したように、小説『ノルウェイの森』の主人公たちにとって非常に重要な役割を果たしていたレイコが、オリジナル映画において、自身の物語や、ワタナベと一緒に行った直子の音楽葬、そして四回と強調されたワタナベとのセックスといった内容の消去によって、すでに本来の面影を失っていた。このようなレイコが、中国劇場版『ノルウェイの森』では、一層変容してしまい、更に影の薄い存在となった。中国劇場版『ノルウェイの森』では、レイコとワタナベとの最後のラブシーンは言うまでもなく、直子が自殺した後の、レイコとワタナベに関するすべての内容が消されてしまった。

実際は小説『ノルウェイの森』の時点で、レイコという人物は中国の一部の読者たちにとって、受け入れがたい存在だった。それらのレイコに対する不満の理由の多くは、レイコとワタナベの年の差のセックスに集中している。比較文学研究者の韋晴川の論文「現代与伝統的『挪威的森林』」は、レイコとワタナベのセックスについて「ワタナベと彼より一九歳上のレイコとが性関係を持つのはやはり乱倫という違和感を与える。前後の文章をつなげてみれば、このプロットは人に不調和な虚構感を与える」と批判した。また読者のなかでは、「( )では自分より一九歳年下のboyと性的関係を持つ(レイコ)が好きな人はいないはず」や「いまだに正視できない。毎回ギターを弾きながら直子を吊うところまで読んだら飛ばす。反感を抱く。」などの意見がみられる。この意味では、今回、中国側

によるレイコに対するオーバーカットは、このような反感に添えて、映画『ノルウェイの森』を「レイコ不在」の物語に変身させたための改編であった可能性が十分考えられる。

### 三 中国における村上春樹の小説と改編映画の受容の比較

上映前の熱烈な期待とは異なり、映画『ノルウェイの森』の中国における上映後の成績は決して良いものではなかった。上海電影(集団)有限公司に所属されている上海最大の映画会社である上海聯合電影院線の統計によると、『ノルウェイの森』公開後の最初の週末の興収がわずかに三〇〇万元前後(約五千七〇〇万円)で、同年二月に上映された中国ロマンス映画『将愛情進行到底』の同時期の興収である三五〇〇万元(約六億七千万)と比べれば、雲泥の差である。

管見の限り、現在村上春樹作品から改編された映画は七本ある。そのうちの六本に対して「豆瓣電影」のデータを利用し中国における受容状況を整理してみるとこと、下記の結果になる。

(製作年代順)

作品名	観賞人数 (人)	豆瓣 得点
大森一樹監督『風の歌を聴け』(一九八二)	874	7.2
山川直人監督『パン屋襲撃』(一九八二)	610	6.6
山川直人監督『100%の女の子』(一九八三)	1,918	7.7
市川準監督『トニー滝谷』(二〇〇四)	3,572	7.9

Robert Logevall 監督『All God's Children Can Dance』(110077)	908	6.4
トラン・アン・ユン 監督『ノルウェイの森』(11128,467010)	128,467	5.9

※二〇一七年九月一日二四時までの「豆瓣電影」データのもとに更新した。

この結果を、小説『ノルウェイの森』について同時点で更新した評価データ、すなわち読書人数三五万二三八二人、および得点八〇点の四つ星と比べれば、映画と小説の受容における温度差は一目瞭然である。

ちなみに、筆者が二〇一一年一〇月に「豆瓣網」を中心に実施した『ノルウェイの森』の読書調査の結果によれば、二〇代から三〇代を中心とする回答者は「作品に漂う孤独感や喪失感が非常に共感と呼ぶ」、「細部まで描かれているワタナベのライフスタイルに憧れる」などを『ノルウェイの森』愛読の理由として挙げている。中国における『ノルウェイの森』読者の多くは、ワタナベの恋愛自体に感銘を受けたのではなく、その恋愛の過程から生まれる人生の無常観や喪失感に共感しているのであり、同時に癒しを得てもいるのである。更に、経済発展途上地域の出身者にとっては、『ノルウェイの森』は自らの大都市生活に対する想像の糧の一つであり、希望を与えてくれる存在でもある。小説とは対照的に、映画化の過程においては、物語のストーリー性が重視されたためか、小説の奥行が十分には再現されなかったいっぽう、原作を超越した映画としての鮮明な性格も出せなかった。そして、中国劇場版では、オリジナ

ル映画版よりも三〇%近くもカットされており、このような二重の改編により、映画『ノルウェイの森』は更に空疎なものとなり、多くの観客が心に抱いていた小説『ノルウェイの森』の世界からは遠く離れてしまったのである。

香港中文大学教授の李歐梵は自著『文学改編電影』のなかでカフカ小説の映画化について「一人有一個カフカ（人には人それぞれのカフカがいる）」、「カフカの小説のように、既に一流の文学作品となった上、一流の映画作品に改編することは不可能だ」と述べている。映像に頼る映画と文字に頼る小説は元から表現方法を異にしている。振りかえってみれば、高い評価を得た改編映画は、原作の枠を破り映像表現によって新たな物語を誕生させるものが殆どである。このように原作小説とその改編映画との比較は面白いが、それぞれを異なるジャンルとして分けて考えるのもまた新たな発見ができると考えるが、これは今後の課題としたい。

(※本報告は2016年発表した論文「失われた38分—村上春樹原作『ノルウェイの森』の映画化、および中国における同作改編上映による変容をめぐって」(東京大学中国語中国文学研究室紀要 第一九号)より映画の部分のみにフォーカスした上で加筆したものである。)

《注》

(一)『村上春樹全小説ガイドブック』洋泉社、二〇一〇年、四頁。

(二)『ノルウェイの森』とその時代』ELLESPECIAL、二〇一〇年二月号、三〇一頁。

- (三) 張明敏訳『聯合文学』三一四期、二〇一〇年二月五六―五七頁)
- (四) 佐藤幹夫『村上春樹の隣には三島由紀夫がいつもいる』P15新書、二〇〇六年、二〇七頁。
- (五) 前掲『CINEMA SQUARE』Vol.134、一〇八頁。
- (六) 内田樹「映画『ノルウェイの森』を見ました」、ブログ【内田研究室】二〇一〇年一月二十八日。http://blog.tatsuru.com/2010/10/28\_1451.php
- (七) 小山鉄郎『空想読解 なるほど、村上春樹』共同通信社、二〇一二年、七六―七八頁。
- (八) 原文：渡边比他大十九歳の玲子发生关系仍给人以乱伦的恶感。联系前后文，这个情节给人以不协调的虚拟感。章晴川「現代与伝統的《挪威的森林》」『広西広播電視大学学报』六三頁。
- (九) 原文：这里应该没人会去喜欢……和比自己19岁的boy发生关系的(玲子)。百度村上春樹バー、「《挪威的森林》中、你最喜欢或者讨厌哪个角色？」ユーザー名：GALATIANS' http://tieba.baidu.com/p/225755454
- 8
- (一〇) 原文：至今不敢正视。每次看到弹吉他纪念直子后就跳过。反感。百度村上春樹バー、「大家对玲子和渡边的做爱有什么看法」ユーザー名：tss622111' http://tieba.baidu.com/p/459802432?pn=1
- (一一) ①大森一樹監督『風の歌を聴け』一九八一年。②山川直人監督『パイン屋襲撃』一九八二年。③山川直人監督『100%の女の子』(原作『四月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて』一九八三年。④野村恵一監督『森の向う側』(原作『土の中の彼女の小さな犬』一九八八年。⑤市川準監督『トニー滝谷』二〇〇四年。⑥ロバート・ログバル (Robert Logevall) 監督『All God's Children Can Dance (神の子ごもたちはみな踊る)』二〇〇七年。⑦トラン・アン・ユン監督『ノルウェイの森』二〇一〇年(制作年順)

- (一二) 「豆瓣網」とは現代中国の若者たちの間で非常に流行している、読書・音楽・映画・ブログなど幅広いジャンルにわたって網羅的なサービスを提供する文化交流ネットワークのことである。そのうち「豆瓣読書」・「豆瓣電影」・「豆瓣音楽」の三つのサブサイトは「豆瓣網」で最も人気のある三大批評ブロックとされる。本報告の「豆瓣網」をめぐる調査および書評とユーザーコメントは、主に「豆瓣電影」を参照したものである。
- (一三) 中国大陸の劇場で正式に上映されたのは映画『ノルウェイの森』のみである。
- (一四) 原文：像卡夫卡的小説，既是第一流的文學作品，根本不可能改編為第一流的影片了。李欧梵『文學改編電影』三聯書店，二〇一〇年、一七七頁。